

慶讃テーマ

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

私は、この地、この時に生を受けている。
このことを精いっぱい尽して生きたい。
悩み、苦しみは私に押し寄せてくる。
でもそれは「生きること」をも奪うものではない。

私の心の奥底にある「生きたい」という声に耳を澄まそう。
その時、私に届けられている声に気づく。
それは私を呼ぶ声、
南無阿弥陀仏。

仏の名を呼ぶことは、仏の呼び声を聞くこと。
その呼び声の響きの中で、
人と生まれたことの意味を仏にたずねていこう。

私に先立って生きた人たちと、
同じ今を生きる人たちと、
これから生まれてくる人たちと、
そのこと一つをともにたずねていこう。

種から芽が出て花が咲き、花は枯れても種が残り
また花を咲かすように。

慶讃法要についての
最新情報は
こちらをご覧ください



慶讃法要特設サイト



宗派公式ホームページ

掲載内容を変更する場合があります。[2023年2月発行]

宗祖親鸞聖人
御誕生
立教開宗
580th
真宗大谷派(東本願寺)

真宗本廟(東本願寺)

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
JR京都駅より徒歩7分/地下鉄・五条駅より徒歩5分/市バス烏丸七条バス停より徒歩1分

宗祖親鸞聖人

御誕生八百五十年・立教開宗八百年

きょう さん ほう よう

慶讃法要 参拝のしおり

法要期間

第1期法要 2023年3月25日(土)~4月8日(土)
第2期法要 2023年4月15日(土)~4月29日(土)
讃仰期間 2023年4月9日(日)~4月14日(金)

真宗大谷派(東本願寺)

真宗宗歌

ふかき^{のり}み法に あいまつる

身の幸^{さち}な^にに たとうべき

ひたすら道を ききひらき

まことのみむね いただかん

「真宗宗歌」の歌詞は、1923年の立教開宗700年にあたり、真宗各派協和会（真宗教団連合の前身）にて公募・発表され、本年100年の節目を迎えました。

恩徳讃(正像末和讃)

如来大悲の恩徳は

身を粉^こにしても報^{ほう}ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝^{しゃ}すべし

目次

宗務総長挨拶「真宗再興の時」		慶讃テーマソング	24
宗務総長 木越 渉	2	諸法要	26
参拝にあたっての留意事項	4	期間中の関係団体催事	28
慶讃法要期間・讃仰期間 一覧表	6	慶讃テーマ館のご案内	30
表白	8	憩いのひろば・子どものひろば	34
日程・法要次第	10	門前エリアでの催し	36
第1期法要		渉成園でのイベント	37
3月25日(初日)	11	その他の催事	38
3月26日～31日・		大谷祖廟・	
4月2日～7日(平日法要)	12	同朋会館	40
4月1日(中日(音楽法要))	13	東本願寺周辺お散歩マップ	41
4月8日(結願)	14	親鸞聖人生誕八百五十年特別展・	
第2期法要		南座4月特別講演	42
4月15日(初日)	15	京都市広域地図	43
4月16日(音楽法要)	16	東本願寺出版のご案内	44
4月17日～21日・		東本願寺お買い物広場	45
23日～28日(平日法要)	17	宗祖親鸞聖人のご生涯	46
4月22日(中日)	18	インターネットライブ配信のご案内	47
4月29日(結願)	19	真宗本廟(東本願寺)案内図	48
讃仰期間	20		
帰敬式・真宗本廟収骨	21		
法話・感話・合唱団一覧	22		



しんしゅうさいこう 真宗再興の時



宗務総長 木越 渉

全国の門徒同朋の皆さまにおかれましては、慶讃事業にご理解を賜り、日頃より尊いご懇念をお運びいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

いよいよ慶讃法要をお迎えすることとなります。

このご法要は、文字通り宗祖親鸞聖人の御誕生と浄土真宗の立教開宗を記念する法要であります。

ご存知のとおり、親鸞聖人は若き29歳の時に比叡山を下りて、師・法然上人と出会い、一人の凡夫として市井の人びとと共に生きられました。

親鸞聖人は法然上人との出会いを、ご和讃で、

智慧光のちからより

本師源空あらわれて

浄土真宗をひらきつつ

選択本願のべたまう (高僧和讃『真宗聖典』498頁)

と、浄土を真の宗(よりどころ)とする本願念仏の教えを開かれた方であったと感慨をもって詠われています。このご和讃をお書きになったのは晩年、京都に戻ってからのことです。35歳で流罪となった以降、法然上人と再び会うことはありませんでしたが、流罪先の越後やその後の関東での、「いなかの人びと」と悲しみや苦しみを共にする暮らしの中で、師が口にしていたお念仏に自らをたずねていたのでありましょう。お念仏ひとつでこの身が救われるのか…。時には、仏さまのお心を疑い苦しんだこともあったことでしょう。しかし、お念仏の息が絶えるまで、その声を縁とすることができたのも、またお念仏に生きた人びととの出会いがあったからでありました。ご和讃の言葉は、そ

のような聖人ご自身の人生の歩みがはじまった師との出会いへの万感の想いが込められているように思います。

親鸞聖人が遺された『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)は、聖人の足跡ともいえるべきものです。幸いにもその自筆本である坂東本が私たちの先達のご苦勞によって伝えられています。何度も書き直された跡があり、最晩年まで手元において手を加えられていました。自らの領きを答えとせず、苦悩の底から聞こえてくるお念仏の声に促されて、常に自身の人生を問いたずねていかれたのです。そのお念仏の声とは、法然上人はもとより、親鸞聖人が出会われた多くの先達や御同朋の姿だったのでありましょう。坂東本という存在そのものが、「人と生まれたことの意味」を終生たずね続けられた聖人の聞思の証であったのです。そして、その知恩の慶びが、遇いえたこの教えを次の人に手渡していかねばならないとの使命感に立ち上がらせたのでありましょう。そのお姿こそが、聖人の立教開宗の精神であると受けとめております。

かつて金子大榮先生は、「親鸞聖人の学び方を学ぶのが真宗学である」とおっしゃられました。他者と共に生きるということがあらためて問われているこの時代です。「聞思して遅慮することなかれ」との宗祖聖人の励ましを受け、凡夫の道として開かれた往生浄土の道を、私たち一人ひとりの人生の中に再び興していくことが願われます。そしてそのことが私たちの次の世代へ自然に手渡していくことになるのです。

慶讃法要がその大切な機縁となることを願ってやみません。

参拝にあたっての留意事項

事前に参拝をお申し込みの方は、お送りしております参拝券に記載の座席にお座りください。

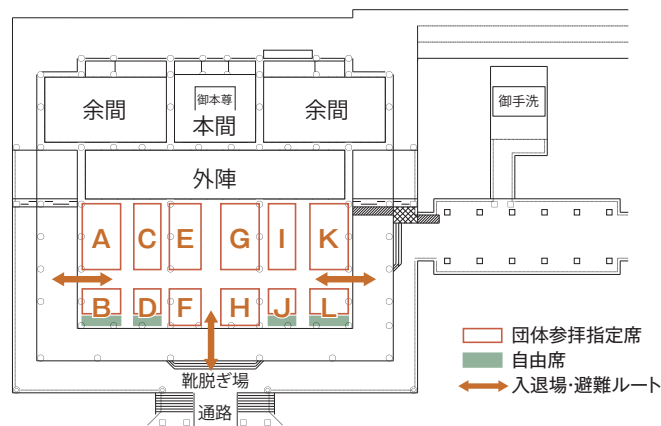
また、事前にお申し込みいただいていない方は、自由席エリアにお座りくださいますようお願いいたします。 ※慶讃法要以外の諸法要は全席自由席です。

皆さまに安心してご参拝いただけるよう、対応するスタッフは全員、事前の検温・マスクの着用・手指の消毒を徹底します。皆さまにおかれましても、日ごろの健康管理にご留意のうえ、ご参拝にあたっては下記の点にご留意いただきますようお願いいたします。

各自の感染対策について

- ご参拝の際は必ずマスクをご着用ください。マスクをお持ちでない方は、お近くのスタッフまでお声がけください。
- 阿弥陀堂・御影堂広縁に消毒用アルコールを常備していますので、適宜、手指の消毒をお願いします。
- 密集を避け、互いになるべく距離を空けるよう心がけましょう。
- 体調に異変を感じられた場合は、すぐにお近くのスタッフまでお知らせください。
※体温が37.5℃以上ある場合はご参拝をお控えください。

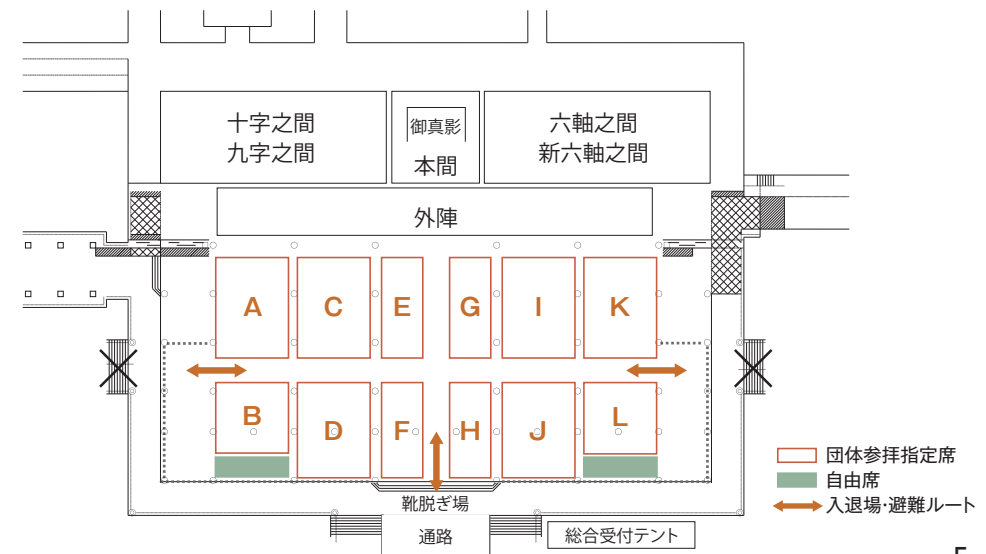
阿弥陀堂



諸注意

- 法要前後に御本尊・御真影へ拝礼していただけます。阿弥陀堂・御影堂ともに、法要前は参詣席(外陣矢来の外側)にて拝礼(スタッフの誘導はありません)、法要後は外陣にてスタッフの誘導による拝礼となります。 ※拝礼は各団体・個人の任意です。
- 堂内、境内では、地震、火災等の緊急事態が発生した場合の避難誘導も含めて、スタッフの誘導に従ってください。
- 気分が悪くなったり、けがをされた場合は、救護室を設けていますので、お近くのスタッフまでお知らせください。
- 両堂とも定期的に換気を行いますので、各自防寒対策をお願いします。
※教区団体参拝・一般参拝(指定席)にてご参拝の方はお席に配しているブランケットをご利用ください。ブランケットは記念品ですでお一人一枚お持ち帰りください。
- 阿弥陀堂、御影堂後方にライブ配信用のカメラを設置しているため、堂内にご参拝いただいた際、ライブ配信に映り込む可能性があります。あらかじめご了承ください。

御影堂



慶讃法要期間・讃仰期間 一覧表

基本日程(初日・中日・結願を除く)

午前法要

9時40分集会・10時勤行・11時10分感話、法話
 ・11時40分法要日程終了 引続 帰敬式・真宗本廟収骨

午後法要

13時集会・13時20分勤行・14時30分感話、法話
 ・15時法要日程終了 引続 帰敬式・真宗本廟収骨

※法要前に、慶讃テーマソングの演奏・内局挨拶があります。

期日	第1期法要	日程	その他の法要／行事	帰敬式	収骨
3月25日 土	初日 午後法要	11頁		○	○
3月26日 日	午後法要	12頁		○	○
3月27日 月	午前法要	12頁	宗祖聖人御命日速夜(14時～)	○	○
3月28日 火	午後法要	12頁	宗祖聖人御命日晨朝(7時～)・日中(10時～)	○	○
3月29日 水	午後法要	12頁		○	○
3月30日 木	午後法要	12頁		○	○
3月31日 金	午後法要	12頁		○	○
4月 1日 土	中日 午後 音楽法要	13頁	師徳奉讃法要(10時～)	○	○
4月 2日 日	午後法要	12頁	全戦没者追弔法会(9時30分～)	○	○
4月 3日 月	午後法要	12頁	相続講員物故者追弔会 兼 帰敬式受式物故者追弔会(10時～)	○	○
4月 4日 火	午後法要	12頁		○	○
4月 5日 水	午後法要	12頁		○	○
4月 6日 木	午後法要	12頁		○	○
4月 7日 金	午後法要	12頁		○	○
4月 8日 土	結願 午後法要	14頁		—	—

期日	讃仰期間	日程	その他の法要／行事	帰敬式	収骨
4月 9日 日	讃仰勤行	20頁	真宗大谷派大谷婦人会慶讃法要	○	—
4月10日 月	讃仰勤行	20頁	一如上人御祥月命日速夜(引上)(16時～)	○	○
4月11日 火	讃仰勤行	20頁	一如上人御祥月命日晨朝兼日中(引上)(7時～) 真宗大谷派坊守会連盟慶讃法要記念大会	—	—
4月12日 水	讃仰勤行 先門首御祥月命日 速夜と兼修(14時～)	20頁	真宗大谷派同和関係寺院協議会慶讃 法要記念大会	○	○
4月13日 木	讃仰勤行 先門首御祥月命日 日中と兼修(10時～)	20頁	先門首御祥月命日晨朝(7時～) 琢如上人御祥月命日速夜 兼 歌徳院殿御命日速夜(引上)(16時～) 『教行信証』『坂東本』公開講演会	○	○
4月14日 金	讃仰勤行	20頁	琢如上人御祥月命日晨朝兼日中 兼 歌徳院殿御命日晨朝兼日中(引上)(7時～) 供茶(10時～)・讃仰茶会	—	—
期日	第2期法要	日程	その他の法要／行事	帰敬式	収骨
4月15日 土	初日 午前法要	15頁		○	○
4月16日 日	午前 音楽法要	16頁		○	○
4月17日 月	午前法要	17頁	蓮如上人御影吉崎別院御下向式(13時～)	○	○
4月18日 火	午前法要	17頁		○	○
4月19日 水	午前法要	17頁		○	○
4月20日 木	午前法要	17頁		○	○
4月21日 金	午前法要	17頁		○	○
4月22日 土	中日 午前法要	18頁	大谷保育協会 親子で集う子育てセミナー	○	○
4月23日 日	午前法要	17頁	緯如上人御祥月命日速夜(16時～)	○	○
4月24日 月	午前法要	17頁	緯如上人御祥月命日晨朝兼日中(7時～) 蓮如上人御命日速夜(14時～) 教誨師・篤志面接委員会慶讃記念公開講座	○	○
4月25日 火	午前法要	17頁	蓮如上人御命日晨朝兼日中(7時～)	○	○
4月26日 水	午前法要	17頁		○	○
4月27日 木	午前法要	17頁	宗祖聖人御命日速夜(14時～)	○	○
4月28日 金	午後法要	17頁	宗祖聖人御命日晨朝(7時～)・日中(10時～)	○	○
4月29日 土	結願 午後法要	19頁	大谷スカウト連合協議会結成65周年 記念「公開講演会」	—	—

※期間中も7時から晨朝法要があります。
 ※真宗本廟収骨がない日はお預かりのみになります。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・ 立教開宗八百年慶讃法要 表白

三世十方の諸仏ならびに、同朋衆生に申し上げます。本日ここに宗祖親鸞聖人の恩厚を仰ぎ、御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を厳修いたします。

百年前の「立教開宗七百年記念法要」では、「同朋唱和」という言葉が生まれました。五十年前の慶讃法要の「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」というスローガンは、今でも大切な言葉となつて、私たちの心に刻まれています。このたびの「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」というテーマも、それを受け継いで定められました。

人間は争いと分断を繰り返します。さらに現代は気候変動による自然災害や感染症などの脅威に、先の見えない時代を生きていると言えましよう。何か方向や答えを建てようとなれば、それは分断につながっていきます。しかし、私たちは生きるために立場を建てざるを得ない存在であります。その立場は時に、他者を傷つけ排除するか、あるいは立ちすくむしかない現実を作り出してしまいます。そのような流転する身を、仏は「汝、凡夫よ」と言い当て

てくださいます。宗祖はその仏の呼びかけに出会い、愚禿の身に帰られました。

この宗祖の歩みにこそ、争いと分断を超えてゆく道があります。愚の大地にしっかりと足をつけて生き、仏に成る道をゆくこと。それは『仏説無量寿経』が伝える、法蔵菩薩の願成就の証にほかなりません。

真宗大谷派は、聖人の御教えを憶念しつつ、「人類に捧げる教団」「世界中の人間の真の幸福を開かんとする運動」と宣言する同朋会運動の推進を、そのいのちとしてきました。

「名声超十方」、すなわち「あらゆる世界を超えて、我が名よ響け」との法蔵菩薩の誓い、「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」との宗祖聖人の願いに導かれ、同朋社会の実現を期し、あまねく御同朋とともに慶讃法要を厳修いたします。

伏して願い申し上げます。この法要の喜び、この出会いの喜びが、一切世界の衆生に届き、南無阿弥陀仏の聲が、どこまでもどこまでも響きわたりますように。

二〇二三年三(四)月 釈修如、敬って申し上げます。

日程・法要次第

慶讃法要の意義

慶讃法要は、宗祖親鸞聖人の御誕生と立教開宗を慶び讃える御仏事です。
一人ひとりが自らにとっての立教開宗の意味をたずね、宗祖が生涯を尽くし、そして無量無数の尊い先達の信力によって、現に私たちにまで伝えられた南無阿弥陀仏の呼び声確かめ、その慶びを共にする大切な時と場です。
宗祖の仏法聴聞のお姿をとおして、お念仏の中で人と生まれたことの意味をたずねてまいりましょう。

両堂が一体となって勤まる法要

このたびの慶讃法要は、阿弥陀堂と御影堂が一体となって勤まる初めての法要です。
阿弥陀堂において『仏説阿弥陀経』の世界・浄土の莊嚴の世界にふれ、そのいわれを御影堂において、宗祖のお言葉に学んでいく。宗祖の御誕生を寿ぎつつ、そのみ教えをあらためて確かめてまいります。
ご参拝の際には『真宗大谷派勤行集』(赤本)や『正信偈書写本』をご持参いただき、ご一緒にお勤めしましょう。

お華束

法要期間に阿弥陀堂、御影堂の内陣に莊嚴されるお華束は、愛知県の「お華束講」で製作されています。毎年の報恩講では、阿弥陀堂に2桁(対)、御影堂に3桁のお華束が進納されます。このたびの慶讃法要期間では阿弥陀堂に3桁、御影堂に5桁のお華束が莊嚴されます。
毎年、真宗本廟報恩講をはじめとした法要・行事では、お華束講のほか、全国各地の「お講」の方々がさまざまな形で東本願寺を支えてくださっています。

*感染症の影響により、桁数が変更になる場合があります。



2011年御正当報恩講(御影堂)

第1期法要

3月25日(初日)

13時

集会
真宗宗歌
慶讃テーマソング
内局挨拶



13時20分

勤行(約1時間20分)

乱 声
出 仕
着 座 楽
総 礼
伽 陀 稽首天人
登高座楽
登高座

附物

表 白
伽 陀 先請弥陀
御 經 仏説阿弥陀経

附物
音木有之
阿弥陀堂にて調声

楽
起立散華
復 座
伽 陀 直入弥陀
総 礼
正 信 偈 草四句目下(同朋唱和)

御影堂にて調声

念 仏 讃 淘五 三重念仏
和 讃 一首目 弥陀成仏のこのかたは
二首目 解脱の光輪きはもなし
三首目 清浄光明ならびなし

附物

回 向 願以此功德
総 礼
退 出 楽
退 出

附物

14時50分


法話 阿弥陀堂 鶴見 晃氏(岡崎教区)
御影堂 吉元信暁氏(九州教区)

15時20分

恩 徳 讃
法要日程終了

第1期法要

3月26日~31日・4月2日~7日〈平日法要〉

13時	集会 真宗宗歌 慶讃テーマソング 内局挨拶	※3月27日は9時40分~	
13時20分	勤行(約1時間) 出仕 総礼 伽陀 稽首天人 登高座 表白 伽陀 先請弥陀 御経 仏説阿弥陀経	音木有之 阿弥陀堂にて調声	
	伽陀 直入弥陀 下高座 総礼 正信偈 草四句目下(同朋唱和)	御影堂にて調声	
	念仏讃 淘三 和讃 一首目 弥陀成仏のこのかたは 二首目 解脱の光輪きはもなし 三首目 清浄光明ならびなし		
	回向 願以此功德 総礼 退出		
14時30分	感話・法話 [22ページ参照] 恩徳讃		
15時	法要日程終了		

第1期法要

4月1日〈中日(音楽法要)〉

13時	集会 真宗宗歌 慶讃テーマソング 内局挨拶	
13時20分	音楽法要(約1時間) 入堂 出仕曲 着座曲 総礼 登高座曲 三帰依 表白 散華曲 下高座曲 総礼 正信偈(和訳正信偈) 念仏・和讃 宝林宝樹微妙音 回向 総礼 退出 退出	
14時30分	法話 阿弥陀堂 松扉 覚氏(金沢教区) 御影堂 金石潤導氏(北海道教区)	
15時	恩徳讃 法要日程終了	

【作曲・指揮】

新実徳英氏(作曲家)

【電子オルガン】

おろか
魯あす香氏
(大垣教区合唱連盟)



新実徳英氏



音楽法要

4月1日と16日の法要は、「音楽法要」によって勤まります。音楽法要とは、西洋音楽の音の表現による法要の形式です。東本願寺では1961(昭和36)年の親鸞聖人七百回御遠忌法要において、松下眞一氏(作曲家)制作の音楽法要曲を用いて初めて音楽法要が勤まりました。以来、4月1日の親鸞聖人御誕生会は音楽法要によって勤まっています。2011年以降は、4月1日に加えて、11月21日に御正忌報恩講讃仰法要が音楽法要によって勤まっています。このたびの慶讃法要では、2011年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を機縁として新実徳英氏(作曲家)により新たに制作された音楽法要曲を用いて勤まります。同朋唱和によって僧侶・門徒が共に勤められるよう次第が編成されています。(※「和訳正信偈」については16ページをご参照ください。)

第1期法要

第2期法要

4月8日〈結願〉

4月15日〈初日〉



11時40分
12時
13時

集会
参堂列(庭儀 ※雨天時は縁儀)
真宗宗歌
慶讃テーマソング
内局挨拶
法話 阿弥陀堂 延塚知道氏(九州教区)
御影堂 小川一乘氏(北海道教区)

「参堂列」
御堂に列をなして出仕・参拝する方法を参堂列といいます。真宗本廟においては、法要の軽重によって、それぞれ高廊下列、縁儀、庭儀の順に使い分けられており、近年では、教如上人四百回忌法要において行われました。
このたび行われる「庭儀」では、全国から広く稚児を募り、法要出仕者とともに大寝殿から両堂までの経路を練り歩きます。

13時30分

勤行(約1時間40分)
着座楽
出仕
総礼
伽陀 稽首天人 附物
登高座楽
登高座
表白
伽陀 先請弥陀 附物
御経 仏説阿弥陀経 音木有之
阿弥陀堂にて調声
楽
舞楽
行道散華
復座
伽陀 若聞此法 附物
総礼
正信偈 草四句目下(同朋唱和) 御影堂にて調声
念仏讃 洵八 三重念仏 附物
和讃 三朝浄土の大師等 次第第三首
回向 願以此功德 附物
総礼
退出楽
退出

15時10分

法要日程終了

9時40分

集会
真宗宗歌
慶讃テーマソング
内局挨拶
勤行(約1時間20分)

10時

乱声
出仕
着座楽
総礼
伽陀 稽首天人 附物
登高座楽
登高座
表白
伽陀 先請弥陀 附物
御経 仏説阿弥陀経 音木有之
阿弥陀堂にて調声
楽
起立散華
復座
伽陀 直入弥陀 附物
総礼
正信偈 草四句目下(同朋唱和) 御影堂にて調声
念仏讃 洵五 三重念仏 附物
和讃 一首目 弥陀成仏のこのかたは
二首目 解脱の光輪きはもなし
三首目 清浄光明ならびなし
回向 願以此功德 附物
総礼
退出楽
退出

11時30分

法話 阿弥陀堂 本明義樹氏(京都教区)
御影堂 一楽 真氏(小松教区)
恩徳讃
法要日程終了

12時

第2期法要

第2期法要

4月16日〈音楽法要〉

4月17日~21日・23日~28日〈平日法要〉

9時40分

集会
真宗宗歌
慶讃テーマソング
内局挨拶

10時

音楽法要(約1時間)

入 堂
出 仕 曲
着 座 曲
総 礼
登 高 座 曲
三 帰 依
表 白
散 華 曲
下 高 座 曲
総 礼
正 信 偈(和訳正信偈)
念 仏・和 讃 宝林宝樹微妙音
回 向
総 礼
退 出 曲
退 出

[作曲・指揮]
新実徳英氏(作曲家)
[電子オルガン]
かずまさ
石黒和雅氏
(名古屋音楽大学演奏補助員)

11時10分

感話 阿弥陀堂 東 春子氏(東北教区)
御 影 堂 室井美千博氏(山陽教区)
法話 阿弥陀堂 花園一実氏(東京教区)
御 影 堂 松林 了氏(岡崎教区)

恩 徳 讃

11時40分

法要日程終了

9時40分

集会
真宗宗歌
慶讃テーマソング
内局挨拶

10時

勤行(約1時間)

出 仕
総 礼
伽 陀 稽首天人
登 高 座

表 白
伽 陀 先請弥陀
御 経 仏説阿弥陀経

音木有之
阿弥陀堂にて調声

伽 陀 直入弥陀
下高座

総 礼
正 信 偈 草四句目下(同朋唱和)

御影堂にて調声

念 仏 讃 淘三
和 讃 一首目 弥陀成仏のこのかたは
二首目 解脱の光輪きはもなし
三首目 清浄光明ならびなし

回 向 願以此功德

総 礼
退 出

11時10分

感話・法話[23ページ参照]

恩 徳 讃

11時40分

法要日程終了



和訳正信偈

「和訳正信偈」とは、1973(昭和48)年にお迎えした親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年慶讃法要の際、真宗教団連合の共同事業の一つとして制定された真宗十派の共通勤行です。

当派では例年、立教開宗記念法要などで依用されています。

和訳正信偈についての詳細はこちら(真宗教団連合ホームページ) →



仏花

仏花とは、阿弥陀仏の浄土の荘厳、すなわち真実のはたらきを表現したものです。

当派における仏花の起源を文献で尋ねると蓮如上人まで遡ります。『第八祖御物語空善聞書』に「御荘厳八五具足、真二ハアヒオヒノ松、菊ミヤマシキヒ、下草ハ水仙花。イツレモ上様(蓮如上人)ノ御タテ候」と記されており、蓮如上人が自ら仏花を立てられていたことをうかがい知ることができます。江戸時代中期からは、本願寺の「花役」として「花小」一門によって立花が行われ、今日まで連綿と当派独自の仏花が受け継がれています。

第2期法要

4月22日〈中日〉

9時40分

集会
真宗宗歌
慶讃テーマソング
内局挨拶

10時

勤行(約1時間20分)

乱 声

出 仕

着 座 楽

総 礼

伽 陀 稽首天人

登高座楽

登高座

表 白

伽 陀 先請弥陀

御 經 仏説阿弥陀經

楽

起立散華

復 座

伽 陀 直入弥陀

総 礼

正 信 偈 草四句目下(同朋唱和)

御影堂にて調声

念 仏 讃 淘五 三重念仏

和 讃 本師龍樹菩薩は

回 向 願以此功德

総 礼

退 出 楽

退 出

11時30分

法話 阿弥陀堂 藤 共生氏(福井教区)

御影堂 直林 真氏(能登教区)

恩 徳 讃

12時

法要日程終了



附物

附物

音木有之

阿弥陀堂にて調声

附物

附物

次第三首

附物

第2期法要

4月29日〈結願〉

11時40分

集会

参堂列(庭儀 ※雨天時は縁儀)

12時

真宗宗歌

13時

慶讃テーマソング

内局挨拶

法話 阿弥陀堂 本多弘之氏(東京教区)

御影堂 池田勇諦氏(三重教区)

13時30分

勤行(約1時間40分)

着 座 楽

出 仕

総 礼

伽 陀 稽首天人

登高座楽

登高座

表 白

伽 陀 先請弥陀

御 經 仏説阿弥陀經

楽

舞 楽

行道散華

復 座

伽 陀 若聞此法

総 礼

正 信 偈 草四句目下(同朋唱和)

御影堂にて調声

念 仏 讃 淘八 三重念仏

和 讃 三朝浄土の大師等

回 向 願以此功德

総 礼

退 出 楽

退 出

15時10分

法要日程終了



【ぶがく】

大きな法要では浄土の荘厳の一つとして法要舞楽が行われてきました。このたびは、各期の結願法要で、両堂で行道散華が行われている最中に行われます。また、法要が終わった直後、参拝の皆さまをお見送りする形で白洲の舞楽台で舞楽が行われます。(4月8日は名古屋舞会、29日は金沢音会)

[演目]法要舞楽4月8日「抜頭(右方)」、29日「納曾利」、お見送り時:8日「春庭花」、29日「太平楽」

附物

附物

音木有之

阿弥陀堂にて調声

附物

附物

次第三首

附物

讃仰期間(4月9日~4月14日)

期間中、御影堂にて讃仰勤行が勤まります。

■讃仰期間中の讃仰勤行

正信偈 草四句目下
念仏讃 洵三
和讃「弥陀成仏のこのかたは」次第六首

9日~11日	10時	勤行 引続 法話 ※9日13時~ 真宗大谷派大谷婦人会慶讃法要 ※11日13時~ 坊守会連盟慶讃法要記念大会
12日	13時10分	法話 14時 先門首御祥月命日逮夜兼讃仰勤行
13日	9時20分	法話 10時 先門首御祥月命日日中兼讃仰勤行
14日	9時	勤行 (法話はありません) ※10時~ 供茶



御影堂
(2009年8月に修復完了)



阿弥陀堂
(2015年12月に修復完了)



御影堂門
(2015年12月に修復完了)

国の重要文化財に指定された 6棟の建築群

これまで多くのご門徒方のご懇念によって、聞法の場として大切に護持されてきた真宗本廟(東本願寺)。2019年に境内の建物6棟(御影堂、阿弥陀堂、御影堂門、阿弥陀堂門、鐘楼、手水屋形)が、国の重要文化財に指定されました。

6棟の建築群は、文化庁の文化審議会の答申において「近世以来の伝統木造建築技術による比類ない規模と高い格式を備えた近代の寺院建築群として高い価値を有する」と評価されています。ご参拝の機会にぜひ間近でご覧ください。



阿弥陀堂門
(2022年10月31日に修復完了)



鐘楼
(2023年6月~2024年9月に修復予定)



手水屋形
(2024年4月~2025年3月に修復予定)

帰敬式

帰敬式は、「おかみそり」とも言われ、「仏」「法」「僧」の三宝に帰依し、宗祖親鸞聖人があきらかにされた「教え」に自らの人生を問いたずね、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な儀式です。「仏」はお釈迦さまをはじめとする真理に目覚めた人をいい、「法」はその真理である阿弥陀如来の教えを表します。そして「僧」は僧伽ともいい、法に依って生きる人びとをいいます。受式されますと、仏弟子としての名告り(名前)である「法名」(釋○○あるいは釋尼○○)が授与されます。ともすると、法名は「亡くなってからいただければよい」と思われる方もあるようです。しかし「帰敬式」は、お釈迦さま(仏陀)の弟子(仏弟子)になることであり、法名は、南無阿弥陀仏の教えにみちびかれ、仏道を歩む者となった新たな名告りです。したがって、生きている「今」受式することに、帰敬式の本来の意味があります。

真宗の伝統のなかにこの身を受けた一人ひとりの人生の新たなスタートとして、「帰敬式」を受式しましょう。



法要後に帰敬式を執り行います(要事前申込、4月8・11・14・29日の執行はありません)。受式を予定されている方は参拝接待所で受付をお済ませください。

礼金 お一人1万円(20歳以下 お一人5千円)

【受式に関するお問い合わせ】

本廟部(参拝接待所) TEL:075-371-9210

【帰敬式全般に関するお問い合わせ】

研修部(帰敬式実践運動推進事務局) TEL:075-371-9185

真宗本廟収骨

詳細はこちら



相続講(詳細は27ページ)の精神にご賛同いただき、相続講金を一定額(12万円以上)お納めいただいたご門徒へのお扱いとして、御影堂に安置されている親鸞聖人の御眞影のもとにご遺骨をお収めいたします。お手次のお寺を通じての事前の手続きが必要です。亡き人を偲びつつ、自分も必ず死んでいかなければならない身であること、そして今、たしかに生かされて在ることの尊さを教えられ、気づかされる。亡き人をご縁に、自らの生を考える大切なご縁です。

法要後に真宗本廟収骨があります(要事前申込・4月8・9・11・14・29日はお預かりのみ)。申し込まれた方は、「真宗本廟収骨證」とご遺骨をご持参のうえ、参拝接待所にて受付をお済ませください。法要終了後の帰敬式が終わりましたら、真宗本廟収骨のご案内となります。

法話・感話・合唱団 一覽

期日	阿弥陀堂		御影堂		テーマソング演奏	
	法話	感話	法話	感話	合唱団	曲目
3月25日	鶴見 晃 (岡崎)	—	吉元信暁 (九州)	—	光華小学校 (京都)	①
3月26日	白木澤琴 (東北)	泊野絆花 (大谷中学校[大阪])	多田益子 (九州)	河津文翔 (豊田大谷高校)	光華幼稚園 (京都)	②
3月27日	小倉朋子 (九州)	神田伊沙子 (京都光華高校)	平野喜之 (金沢)	宮戸 衆 (大谷高校[京都])	仏教讃歌をうたう会 (岐阜高山)	③
3月28日	栗栖寂人 (山陽)	小長谷彩帆 (名古屋大谷高校)	北條邦康 (大垣)	森 実可 (東大谷高校)	満徳寺合唱団 満徳寺少年少女合唱隊(岡崎)	①
3月29日	長 紀子 (京都)	姉崎光輝 (大成高校)	澤村 剛 (九州)	櫻木 葵 (昭和学園高校)	照声会 (岐阜高山)	①
3月30日	草間朋哉 (三条)	工藤早姫 (北海道大谷室蘭高校)	芳原里詩 (大聖寺)	長田心音 (函館大谷高校)	金沢教区合唱団 「蓮」	②
3月31日	草野 萌 (九州)	津越匡介 (稚内大谷高校)	不破英明 (大垣)	西澤仁義 (帯長大谷高校)	音楽法要参加者	①
4月 1日	松扉 覚 (金沢)	—	金石潤導 (北海道)	—	音楽法要参加者	④
4月 2日	安本知子 (小松)	吉川はなみ (小松大谷高校)	河野恵嗣 (京都)	金田せな (飯田女子高校)	京都光華中学高校	②
4月 3日	梅原裕放 (高岡)	秋山侑生 (伊那西高校)	岩崎 歩 (高田)	山田真碧 (愛知啓成高校)	岐阜高山教区合唱団 「サラナン」	①
4月 4日	高田直来 (三条)	山香優城 (大谷高校[京都])	犬飼祐三子 (名古屋)	五島万結 (同朋高校)	Tokyo サンガ9 (東京)	②
4月 5日	吉田暁正 (名古屋)	吉野俊則 (九州)	有賀尚子 (長浜)	多保田清満 (小松)	ちいちの華の会 (名古屋)	①
4月 6日	白山勝久 (東京)	下口文博 (大聖寺)	小丸洋子 (東北)	松林大生 (九州)	岡崎教区合唱団 コールアーバー	③
4月 7日	安城覚正 (大阪)	伊藤紋三郎 (大垣)	富永茂子 (名古屋)	小川兵作 (能登)	長浜教区合唱団 花あかり 混声合唱団 かがやき	①
4月 8日	延塚知道 (九州)	—	小川一乗 (北海道)	—	大阪御堂合唱団	③
4月 9日	—	—	南枝尚美 (山陽)	—	—	—
4月10日	—	—	川端裕敬 (京都)	—	—	—

※内容は変更になる場合があります。

※テーマソングは①今日も明日もあなたもわたしも ②ひとりじゃない ③あなたのこえ
④3曲のメドレー を演奏します(※テーマソングの詳細は24-25ページ)。

期日	阿弥陀堂		御影堂		テーマソング演奏	
	法話	感話	法話	感話	合唱団	曲目
4月11日	—	—	佐賀枝立 (富山)	—	—	—
4月12日	—	—	直林 真 (能登)	—	—	—
4月13日	—	—	長 紀子 (京都)	—	—	—
4月14日	—	—	—	—	—	—
4月15日	本明義樹 (京都)	—	一楽 真 (小松)	—	音楽法要参加者	①
4月16日	花園一実 (東京)	東 春子 (東北)	松林 了 (岡崎)	室井美千博 (山陽)	音楽法要参加者	④
4月17日	比叡谷紗誓 (京都)	田中正章 (京都)	谷 大輔 (京都)	石崎明美 (三重)	スジャータ、H2O+ (北海道)	①
4月18日	大橋宏雄 (三重)	谷殿茂明 (大阪)	南枝尚美 (山陽)	水野すみ江 (名古屋)	大谷大学男声合唱団 OB 会 コールリンデンクラブ	②
4月19日	三木朋哉 (岐阜高山)	黒柳芳因 (岡崎)	寺澤三郎 (北海道)	鈴木宏司 (名古屋)	京都ユースクワイヤ	③
4月20日	藤井真翔 (九州)	古俣福子 (三条)	本間幸恵 (東北)	大西智子 (大阪)	三重教区合唱団 「ひかり」	①
4月21日	戸次顕彰 (三条)	及能裕子 (北海道)	藤政朋宏 (大阪)	堀江勇夫 (京都)	ラ・サーラ (福井)	②
4月22日	藤 共生 (福井)	—	直林 真 (能登)	—	大谷高校 (京都)	②
4月23日	池崎方子 (金沢)	鈴木 徹 (東北)	虎石 薫 (高田)	關川宗夫 (北海道)	大谷高校 (大阪)	①
4月24日	藤井真隆 (大阪)	香城 満 (金沢)	酒井義一 (東京)	林 初美 (岐阜高山)	徳円寺コーラス (名古屋)	①
4月25日	荒山 優 (名古屋)	石原政則 (四国)	義盛幸規 (北海道)	野口栄子 (東京)	大垣教区合唱連盟	②
4月26日	松山正輝 (大阪)	中尾俊一 (高岡)	結柴依子 (東北)	佐山芳照 (東北)	京都ユースクワイヤ	③
4月27日	森 広樹 (大阪)	松本弘行 (富山)	釋氏信昭 (四国)	村松勝藏 (高田)	京都ユースクワイヤ	②
4月28日	河合 文 (岐阜高山)	河村和也 (東京)	佐賀枝立 (富山)	髙津俊治 (長浜)	吉田御坊合唱団 (岡崎)	③
4月29日	本多弘之 (東京)	—	池田勇諦 (三重)	—	同朋高校 (名古屋)	①

※法話・感話・演奏の時間は、11ページ～20ページの日程をご覧ください。

慶讃テーマソング

慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の広がりを願い、慶讃テーマソングの歌詞募集が行われ、1,676作品の中から3作品が選ばれました。選ばれた歌詞には新実徳英先生、北川昇先生、清澤久恵先生に作曲いただき、慶讃テーマソングが誕生しました。

第1期・第2期法要期間の法要前に、慶讃テーマソングの演奏があります。

慶讃テーマソングを
聞いてみよう♪

今日も明日も
あなたもわたしも



ひとりじゃない



あなたのこえ



今日も明日もあなたもわたしも

作詞 袖岡菜月 作曲 新実徳英

1 うれしいこと たのしいこと だれにだってあるんだよ
それを感じられるよろこびを今 伝えよう

わたしのうまれたこと してほしい
わたしのうまれた意味を 知ってほしい
今日もわたしは生きている
明日もわたしは生きていく

2 かなしいこと つらいこと だれにだってあるのかな
それを感じているくるしみを今 伝えよう

あなたのうまれたことを してほしい
あなたのうまれた意味を 知ってほしい
今日もあなたは生きている
明日もあなたは生きていく

みんなのうまれたことを してほしい
みんなのうまれた意味を 知ってほしい
今日もみんなは生きている
明日もみんな生きていく



あかほんくん



運ちゃん

ひとりじゃない 作詞 串馬千聖 作曲 北川 昇

1 人と生まれたことの意味をたずねていこう
人はひとりでは生きていけない ほら ひとりじゃない

うれしい時は 誰かが一緒に喜んでいる
つらい時は 誰かがそばで支えてくれる

ひとりじゃない ひとりじゃない 昔も今もこれからも

2 人と生まれたことの意味をたずねていこう
人はひとりになりたい時もある でも ひとりじゃない

晴れの日くもりの日 誰かが遠くで見守っている
雨の日風の日 誰かが離れて祈ってくれる

ひとりでも ひとりじゃない 昔も今もこれからも

3 人と生まれたことの意味をたずねていこう
決して途切れない未来へつなげていこう

うれしい時は わたしが一緒に喜んであげる
つらい時は わたしがそばで支えてあげる

ひとりじゃない ひとりじゃない 昔も今もこれからも



鸞思くん

あなたのこえ 作詞 片桐和夫 作曲 清澤久恵

1 あしたにうまれた わたしのいのち
そそぐひあびて ころろはめざめ
みちるよろこび そのいのち いきなさい
あなたのこえが とどきます

2 ゆうべにうまれた わたしのいのち
よみちさまよい ころろはくだけ
すがるともしび そのいのち いきなさい
あなたのこえが ひびきます

3 きょうもうまれた みんなのいのち
ねがわれあゆむ しんじてあゆむ
となえてあゆむ そのいのち いきなさい
あなたのこえが きこえます

なむあみだぶつ あなたのこえが
きょう ここに

し とく ほう さん 師徳奉讃法要



4月1日(土)

時間 10時～

会場 阿弥陀堂

親鸞聖人が讃嘆しておられる聖徳太子・七高僧をはじめ、今日の私たちにまで本願念仏のみ教えを伝えてくださった、すべての師主知識の恩徳を奉讃する法要が勤まります。

親鸞聖人は聖徳太子を讃嘆して「皇太子聖徳奉讃」と題した和讃などを二百首近く製作しておられますが、その中に次のような一首があります。「和国の教主聖徳皇 広大恩徳謝しがたし 一心に帰命したてまつり 奉讃不返ならしめよ」。

また七高僧とは、インドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)の七人の高僧をいい、親鸞聖人は七高僧について「正信偈」(「正信念仏偈」)においてその遺徳を讃えられ、和讃(「高僧和讃」)を製作し讃嘆されています。

全戦没者追弔法会

4月2日(日)



時間 9時30分～(法要は10時～)

会場 御影堂

テーマ 人間はなぜ争うのか

記念講演 四衢亮氏(岐阜高山教区不遠寺)

詳しくはこちら



御命日の法要

3月27日(月)、28日(火)、4月10日(月)～14日(金)、23日(日)～25日(火)、27日(木)、28日(金)にも法要が勤まります。詳細は6～7ページをご覧ください。

相続講員物故者追弔会 兼 婦敬式受式物故者追弔会

4月3日(月)

時間 11時～

会場 御影堂

そうぞくこう 相続講

「相続講」は、宗祖親鸞聖人の教えを聴聞し、お念仏の教えの相続(法義相続)と、聞法の根本道場である真宗本廟の護持をしていきたいとの深い願いによって、1885(明治18)年に創設されました。「相続講」という名称は、真宗再興の祖である蓮如上人の教化の歩みの中で生まれた聞法の集いである「お講」に由来しています。



1880(明治13)年には、蛤御門の変(禁門の変)で焼失した御影堂・阿弥陀堂等を再建する大事業が始まりましたが、そこには本廟護持を願う数多の真宗門徒のご懇念が、この相続講制度により結集し、15年をかけて完遂されました。

以来、脈々とその精神は受け継がれ、相続講によるお一人おひとりからのご懇念は、同朋社会実現のための基盤となっています。

れん によしやう にん ご えい 蓮如上人御影吉崎別院御下向式

4月17日(月)

時間 13時～

会場 阿弥陀堂

蓮如上人御影道中

期間

[御下向] 4月17日(月)～23日(日)

[御上洛] 5月2日(火)～9日(火)



蓮如上人の北陸教化と真宗再興のご遺徳を偲び、吉崎別院では毎年「御忌法要」が勤まります。「御影道中」は、御忌法要をお迎えるため蓮如上人が歩んだ東本願寺と福井県の吉崎別院を結ぶ往路(御下向)約240km、復路(御上洛)約280kmの道程を、上人の御影と共に歩む大切な御仏事で、江戸時代から300年以上続けられ、本年が350回目となります。

期間中の関係団体催事

法要を機縁として、関係団体によるさまざまな催事が行われます。
参加を希望される場合は、各お問い合わせ先にご連絡ください。

真宗大谷派大谷婦人会 慶讃法要（音楽法要）

- 日時** 4月9日（日）13:00～16:30
※9日・10日午前中「手づくり市」開催
- 会場** 御影堂
- 講師** 池田勇諦氏（三重教区西恩寺前住職）
- 講題** 「とどげようナンマダブ」の使命感
- 定員** 1,750人
- 参加費** 3,000円（要事前申込・記念品〔池田勇諦氏選「日めくり法語カレンダー」・畠中光享氏画葩・ブランケット・トートバッグ〕付き）



池田勇諦氏

お問い合わせ 真宗大谷派大谷婦人会事務局
TEL 075-371-6181 メール otani-fujinkai@higashihonganji.or.jp

真宗大谷派坊守会連盟 慶讃法要記念大会

- 日時** 4月11日（火）13:00～16:30
坊守会連盟結成50周年記念大会（2007年4月）
- 会場** 御影堂
- 講師** 山崎龍明氏（武蔵野大学名誉教授）
- 講題** 苦難の中で輝く信 一親鸞聖人と恵信尼さまの手紙を通して
- 定員** 1,000人
- 参加費** 2,000円（要事前申込・記念品付き）



お問い合わせ 組織部
TEL 075-371-9187 メール sosiki@higashihonganji.or.jp

真宗大谷派同和関係寺院協議会 慶讃法要記念大会

【記念大会】

- 日時** 4月12日（水）13:00～15:20
- 会場** しんらん交流館2階 大谷ホール
- テーマ** あなた人間忘れていませんか？
—共に、朋に、友に生き遇いましょう—
- 講師** 谷元昭信氏
（元部落解放同盟中央書記次長）
- 定員** 200人
- 参加費** 無料



谷元昭信氏

詳細はこちら



お問い合わせ 解放運動推進本部
TEL 075-371-9247 メール kaiho@higashihonganji.or.jp

【記念ライブ】

- 日時** 4月12日（水）
16:00～16:40
- 会場** 御影堂門前
- 出演** SHINGO★西成氏
（ヒップホップMC）
- 参加費** 無料



SHINGO★西成氏

公益社団法人大谷保育協会 親子で集う子育てセミナー

- 日時** 4月22日（土）13:00～15:30
- 会場** しんらん交流館2階 大谷ホール
- テーマ** 今一度、自分（あなた）と再会してみませんか？
- 記念講演** 土井善晴氏（料理研究家）
- 鼎談** パネリスト：土井善晴氏、くわばたりえ氏（タレント）
コーディネーター：鷹橋賢淳氏（（公社）大谷保育協会常務理事）
- 定員** 200人（要事前申込・オンライン配信もあり）
- 参加費** 無料



土井善晴氏



くわばたりえ氏

お問い合わせ 大谷保育協会事務局 TEL 075-371-9207

詳細はこちら



真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会慶讃記念 公開講座

- 日時** 4月24日（月）18:00～20:30（17:00開場）
- 会場** しんらん交流館2階 大谷ホール
- テーマ** つらい時に“生きていける”には…
- 出演者** 【記念講演】宇梶剛士氏（俳優）
【対談】宇梶剛士氏×新川隆教氏（大阪教区西向寺住職・大阪刑務所教誨師）
司会：藤元雅文氏（大谷大学准教授）
- 定員** 100人（要事前申込・Webサイト内の申し込みフォームまたはFAXにてお申し込みください）
- 締切** 3月15日（水）※申込者が定員を超えた場合は抽選となります。
結果は3月末までに聴講券の発送をもってかえさせていただきます。
- 参加費** 無料（ただし、事前申込による聴講券が必要）



宇梶剛士氏

申込・詳細はこちら



お問い合わせ 教育部 TEL 075-371-9193 FAX 075-371-9223

大谷スカウト連合協議会 結成65周年記念「公開講演会」

- 日時** 4月29日（土）19:00～20:45
- 会場** しんらん交流館2階 大谷ホール
- テーマ** 探しものは何ですか。—これまで・今・これから—
- 講師** 姜尚中氏（政治学者）
- 講題** リーダーは「半歩」前を行けばよい
- 定員** 100人
- 参加費** 1,000円（要事前申込）



姜尚中氏

お問い合わせ 青少年センター

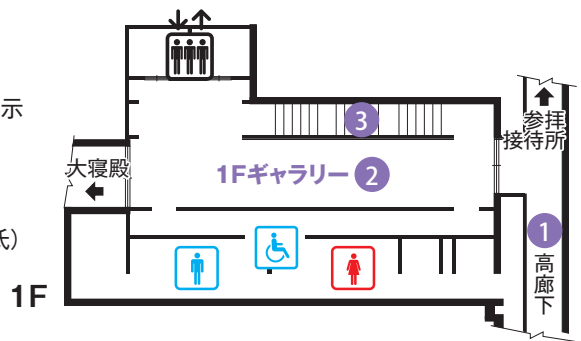
TEL 075-354-3440 メール oyc@higashihonganji.or.jp

観覧無料

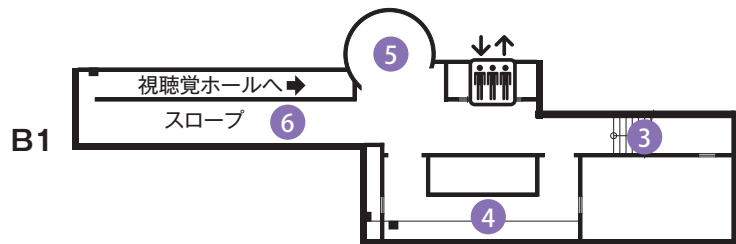
慶讃テーマ館のご案内

会場：高廊下・参拝接待所ギャラリー・視聴覚ホール
時間：8:30～16:30 ※観仰期間は9:00～16:00

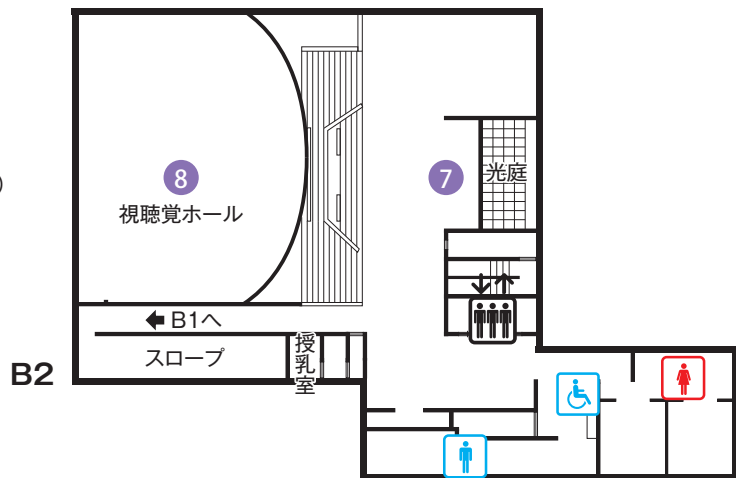
- 1 「慶讃法要記念俳句」展示
- 2 「宗祖親鸞聖人」展
- 3 親鸞画展
(切り絵作家：早川鉄兵氏)



- 4 親鸞画展
(画家：山口晃氏)
- 5 「正信偈」
書写コーナー
- 6 『教行信証』展



- 7 親鸞画展
(漫画家：井上雄彦氏)
- 8 慶讃寄席



慶讃テーマ館のご案内

6

『教行信証』展

きょうぎょうしんしやう

立教開宗の書であり、親鸞聖人の自筆本である『教行信証』(坂東本)の筆跡等から、聖人の思索にたずねていく展示や映像を放映します。

東本願寺公式YouTubeチャンネルで、『教行信証』(坂東本)を紹介する番組を配信しています。



国宝『顕浄土真実教行証文類』
(教行信証) 坂東本

公開講演会 『教行信証』(坂東本)

事前申込不要・自由席

- 日時 4月13日(木) 14:00～17:30 ※途中休憩あり
- 会場 しんらん交流館2階 大谷ホール
- 講題 問思の人・宗祖親鸞聖人
—『坂東本 教行信証』を通して—
- 講師 みきあさまる (聖教編纂室特別編纂研究員)
三木彰円氏 (大谷大学教授)
- 参加費 無料



三木彰円氏

東本願寺公式YouTubeチャンネルでのライブ配信を実施します。

『教行信証』(坂東本)

真宗大谷派(東本願寺)に蔵される『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)坂東本は、現存する唯一の親鸞聖人自筆の『教行信証』であり、1952(昭和27)年に国宝に指定されています。「坂東本」の通称は、親鸞聖人の高弟・性信によって「坂東報恩寺」に長く伝持されてきたことに由来するものです。



本文の大部分は親鸞聖人60歳頃の筆で記され、さらにそれ以降、最晩年にまでおよび加筆や修正の跡が見られ、『教行信証』を執筆する親鸞聖人の息づかいを感じさせてくれます。坂東本に書かれた文字一つひとつの筆の運びをはじめとして、そのすべてが私たちに示すのは、常に門弟たちを「御同朋御同行」と憶念しつつ本願念仏の教えのもとに生涯を尽くした親鸞聖人の姿であり、親鸞聖人を「宗祖」と仰いでいった多くの念仏者の存在にほかなりません。

2

「宗祖親鸞聖人」展

慶讃法要を機縁に、親鸞聖人のご生涯をたずねるパネル展。親鸞聖人の歩みをたどりながら、現代を生きる私たちに問いかけられた課題を考えます。



親鸞聖人「安城御影」

◆ 特別展示 ◆

剃刀（青蓮院門跡所蔵）

本願寺第三代覚如上人が著した『御伝鈔』にあるように、親鸞聖人9歳の頃に慈円（慈鎮和尚）のもと、得度されました。今回その得度時に使用されたと、天台宗青蓮院に伝えられる剃刀を、青蓮院から特別にお借りし、展示します。



5

「正信偈」書写コーナー

ご参拝の記念に「正信偈」を書写しましょう。



イメージ

大きな「正信偈」のパネルを設置。一人一文字ずつ書いて貼り付けていき、みんなで「正信偈」840字を完成させましょう！



「正信偈」から4句を書写用に印刷したカードを、参拝記念にお持ち帰りいただけます！カード裏面には書き下し文と現代語訳を記載。

1

「慶讃法要記念俳句」展示

慶讃法要をお迎えするにあたり、全国の皆さまより応募いただいた俳句の中から入賞作品を展示します。



8

慶讃寄席

視聴覚ホールにて、桂小春團治氏による新作の真宗落語の公演があります。
※各日2回公演、公演時間：約30分

当日、観覧を希望される方は、白洲の総合受付にお問い合わせください。

第1期法要期間《3月25日(土)～4月8日(土)》

〈第1部〉9:30～ 〈第2部〉11:00～ ※3月27日のみ〈第1部〉13:30～〈第2部〉15:00～

第2期法要期間《4月15日(土)～4月29日(土)》

〈第1部〉13:30～ 〈第2部〉15:00～ ※4月28日・29日のみ〈第1部〉9:30～〈第2部〉11:00～

桂小春團治 真宗落語

演目「親鸞で行こう」

お葬式をキッカケに何にも知らなかった男が、浄土真宗のこと、親鸞聖人のことを教えてもらって、ビックリと感動……。みなさんは親鸞聖人のことをどれくらい知ってますか？ 知ってるようでほんとは知らない「親鸞聖人のご生涯」。その中の数々のエピソードが私たちに語りかけていることを落語を通して、楽しく、そして面白く、学ぶというより、素顔の親鸞聖人に触れてみたいと思います。



撮影：大亀京助

3 4 7

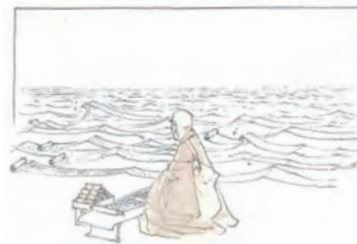
親鸞画展

現代作家が描く親鸞聖人をテーマにした作品を展示します。

〈展示作品〉



屏風「親鸞」
〈井上雄彦氏(漫画家)〉



撮影：曾我部洋平

絵画
〈山口晃氏(画家)〉



作品イメージ



切り絵
〈早川鉄兵氏(切り絵作家)〉

入場無料

憩いのひろば・子どものひろば

わたしとであう つながりにたずねる 仏の願いにうなづく

憩いのひろば (阿彌陀堂南側 大型テント内)
(10:00~17:00)

法要期間 毎日開催 讀仰期間 4月9日のみ開催
4月10日~14日は、休憩所としてご利用いただけます。

◆ 対話のワークショップ ◆

言葉でふれあう
トーク・フォークダンス

事前予約優先



予約はこちらから

所要時間40分・定員56人

司会からの問いに対する考えを向かい合う相手と話します。1分ずつ語り、相手も問いも変わります。多様な思いの交換が豊かな気づきを与えてくれます。



グラフで語る
出会いと気づきの
人生物語

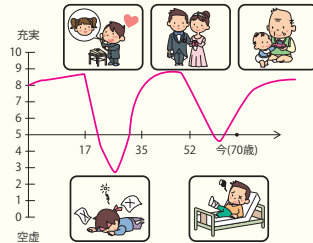
事前予約優先



予約はこちらから

所要時間50分・定員32人

私の人生ってどんな時間だっただろう...どんな人に出あってきたらう。あらためてグラフ化して振り返り、人の数だけ物語があることに触れてみましょう。



メッセージウォール“ひとこと”

慶讃法要に出あった思いや、ワークショップに参加しての気づきなどをメッセージカードに記してみませんか。たくさんの方の“ひとこと”をお待ちしています。



◆ 伝統技術のワークショップ ◆

東本願寺と井波彫刻のつながりとは？

井波彫刻師による東本願寺の彫刻ガイドツアー

第1期法要 3/26(日)・4/2(日) 第2期法要 4/16(日)・23(日)・24(月)

- ◆ガイドツアー (※4/24は①のみ)
所要時間45分 第1期法要 ①11:30~ ②15:30~
第2期法要 ①13:00~ ②15:45~
- ◆御影堂門の彫刻ガイド
所要時間10分 第1期法要 13:00頃 随時
第2期法要 9:30頃 随時

集合場所 御影堂門下



御影堂、阿彌陀堂、御影堂門などの建物に施されている明治期の彫刻。東本願寺と井波彫刻とのつながりとは？ 現代の井波彫刻師が解説します。開催日には、井波別院「テラまち雑貨店in東本願寺」がオープン(9:00~17:00)。御影堂門下で井波オリジナルグッズの予約・販売を行います。【参加費無料・事前予約不要】

憩いのひろば・子どものひろば

東本願寺を支える伝統の技にふれてみませんか？



期日	ワークショップ	担当事業者
3月25日~28日	缶に金箔貼り体験	京仏具小堀・若林佛具製作所
3月29日~30日	手箸づくり	植彌加藤造園
3月31日~4月9日	瓦粘土の型押し体験 ミニ畳づくり かなぽんぽんづくり 苔玉づくり 彩色体験 檜皮葺の竹釘打ち体験など	文友会(宮川屋根工業・畳三 中村三次郎商店・竹村瓦商会・寺本甚兵衛製瓦・小島庭園工務所・花豊造園・樋口造園・川面美術研究所・奥谷組・森本鋳金具製作所 ほか) ※文化財の建築・工事や保存・修復に関わる業者で結成。
4月15日~18日	板(版)木スタンプでしおり・ブックカバーづくり	仏教書総目録刊行会(法蔵館)
4月19日~22日	におい袋づくり	貞野薫玉堂・山田松香木店
4月23日~25日	打敷の刺繍体験	京法衣事業協同組合(柴田法衣店)
4月26日~27日	扇子の絵付け	京扇堂
4月28日~29日	念珠づくり	福永念珠舗

※時間、定員指定や、事前予約優先のもの、一部参加費が発生するものもあります。詳しくは予約サイトでご確認ください。

予約サイト



お問い合わせ kyosan_ws_event@higashihonganji.or.jp

子どものひろば

法要期間 平日:14:00~16:30
土日:10:30~16:30

讀仰期間 4月9日のみ開催

東本願寺キャラクターの大型バルーン

東本願寺キャラクター(黨恩くん、あかほんくん、蓮ちゃん)をモチーフにした大型バルーンを設置します。

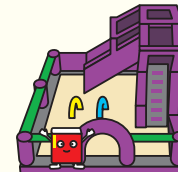
広さ境内でいっぱい遊ぼう!!



黨恩くん



蓮ちゃん



あかほんくん

特大さがしもの絵本

大きな絵本パネルの中にある“しんらんさま”を見つけよう!



毎週土曜日には紙芝居や絵本読み聞かせを楽しもう!

時間 ①11:30~ ②15:00~

出演



やまぞえしんいち
山添真寛さん
(浄土宗僧侶)

4月22日①②



はなだむつこ
花田睦子さん
(有)ドリーム・ワークス
えほん館代表

3月25日①②



りさちゃんさん
(マーガレット一家
紙芝居師)

4月 1日①②
4月15日①②

慶讃法要を記念に制作された東本願寺の紙芝居!

ふたりのパンタカ
1,760円(税込)
265mm×380mm 8枚組



しんらんさまとやまぶしべんねん
2,200円(税込)
265mm×380mm 12枚組

門前エリアでの催し

慶讃法要の始まりと同時に、東本願寺前に「市民緑地」がオープンします。慶讃法要の参拝とあわせて、ぜひお楽しみください。



慶讃法要・市民緑地オープニングイベント

3月24日(金)

15:30~ 「東本願寺前市民緑地」完成式典
16:00~ オープニングイベント

- 完成式典 (主催: 京都府)
- オープニングイベント

第1部 (16:00~)

「音楽で世代をつなぐ・地域をつなぐ」式典での幼稚園児たちの合唱にはじまり、小、中、高生による吹奏楽の演奏へ。次世代を担う子どもたちが演奏を受け渡し、音楽のバトンで地域を繋ぎオープニングを彩ります。

出演

京都市立下京涉成小学校吹奏楽部
京都産業大学付属中学校・高等学校吹奏楽部
大谷中学校・高等学校吹奏楽部



第2部 (17:00頃~)

飲み物や軽食を手に、催しや音楽とともに新たにオープンした東本願寺前市民緑地をお楽しみください。

- 門前プチマルシェ (軽飲食)
- ダブルダッチパフォーマンス
- 京都市立芸術大学生・OBによる弦楽四重奏・管弦楽演奏



NEWTRAD



※雨天時は内容が変更になる場合があります。

法要期間中のイベント

- 京の名産品展 3月25日(土)~4月9日(日)
京のお土産にぴったりの品々やグルメなどが出店します。
- 門前マルシェ 4月15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)
- キッチンカー (各日2台程度) ※4月12日はキッチンカーをお休みします。
4月10日(月)~14日(金)・17日(月)~21日(金)・24日(月)~28日(金)



● 特別イベント

- 4月9日(日)・10日(月)午前 手づくり市 (真宗大谷派大谷婦人会)
- 4月16日(日) ツリーライミング ※雨天の場合は23日に順延

他にもさまざまなイベントが予定されています。決定次第慶讃特設サイトに公開します。
※内容を急ぎ変更する場合があります。



しゅうせいえん 渉成園でのイベント

庭園維持のため、入園の際はお一人様500円以上のご協力をお願いしています。

春の訪れが感じられる渉成園では各種イベントを予定しています。夜間にはライトアップも。普段とは違った雰囲気の渉成園をぜひお楽しみください。

基本日程 3月24日(金)~4月29日(土)

- <日中> 建物内でのワークショップや展示など
- <夜間> 庭園のライトアップ
建物内での特別イベント

※イベントによって開催期間及び閉園時間が異なります。実施スケジュールは、慶讃特設サイトをご覧ください。



東本願寺前花灯路

夜間の東本願寺周辺エリアを花灯路が彩ります。夜の散歩もお楽しみください。

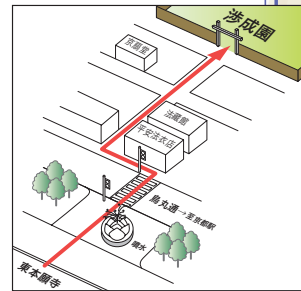
主催: 東本願寺前商店会



渉成園

真宗本廟(東本願寺)の飛地境内地である渉成園は、1641(寛永18)年に三代将軍・徳川家光から当地(約1万坪)が寄進され、石川丈山の趣向を入れて造営された池泉回遊式の庭園です。かつては周囲に枳殻の木が植えてあったことから、枳殻邸の名でも親しまれており、1936(昭和11)年には、国の名勝に指定されています。江戸時代の文人・頼山陽が「渉成園十三景」として讃えた庭園の景観は、今も当初の趣を残し、四季折々の美しさを見せます。法要期間の3月下旬からは桜が咲き始めます。

開園時間 9:00~17:00(受付は16:30まで) ※3月~10月



慶讃法要にあわせてオリジナルのクラフトビールが誕生!

京都駅前、東本願寺門前地域の魅力向上に取り組み「おひがしさん門前未来プロジェクト」より「京都醸造」とともに開発したオリジナルクラフトビール「陽が知る(ひがしる)」が発売されました。

過去・現在・未来のつながりをイメージしたデザイン。

350ml缶入り(アルコール分5.0%)



ご購入はこちらから



ティーエーティー(20PIECES、TUNE STAY)、UDS 株式会社(ホテルカンラ京都)、THE THOUSAND KYOTO、京都醸造株式会社が参画。おひがしさん(東本願寺)を中心とした門前地域の魅力を再発見し、情報発信、イベントなどを通じて人と人、異なる文化や価値観の交わる場としての地域づくりに取り組んでいます。

供茶・讃仰茶会

慶讃法要をご縁として、茶道裏千家 千宗室家元による「供茶」とそれに伴う「讃仰茶会」を開催します。

【供茶（参拝自由）】

- 日時** 4月14日(金) 10:00~10:50
- 会場** 御影堂
- 供茶** 茶道裏千家 千宗室家元

【讃仰茶会】 ※定員に達しました

- 日時** 4月14日(金) 受付9:00~13:00
- 会場** 宮御殿、桜下亭、白書院
- 席主** 濃茶席：茶道裏千家今日庵
薄茶席：茶道裏千家淡交会
京都四支部学校茶道連絡協議会
- 協力** 真宗大谷派学校連合会加盟校茶道部



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 供茶 (2012年4月)



讃仰茶会 (2012年4月)



入場無料

であうつながるともにある



子どものつどい in 東本願寺 5月5日(金・祝) 10:00~16:00

見て、触れて、東本願寺を知ろう!
境内を探検しながらシールを集めるシールラリーに行ってみよう!

サガエさんの部屋
10:30~12:00/13:30~15:00
子ども大人も
カウンセラーのサガエさんとゆっくりお話しませんか。

- 日程**
- 10:00 オープニング【御影堂】
 - 10:30 東本願寺を知ろう!① (探検・体験イベント)【御影堂・諸殿】
遊ぶースTART!(15:15まで)
 - 13:00 おつとめ・帰敬式【御影堂】
 - 14:00 東本願寺を知ろう!②【御影堂・諸殿】
 - 15:30 エンディング【御影堂】

配信もあります

上記日程を「YouTube東本願寺公式チャンネル」で配信します。おうちからも参加できるよ!



内容は予定であり、変更となる場合があります

- ◆要事前申込・定員1,650人(先着順・記念品つき)
- ◆当日参加も可能です(ただし、参加記念品はありません)

お問い合わせ **TEL:075-354-3440** (平日9:00~17:00)
青少年センター メール: oyc@higashihonganji.or.jp

お斎（精進弁当）※事前申込制

境内の諸殿(大寝殿、白書院、表小書院)や渉成園などでお斎(精進弁当)をご用意しております。《「慶」(冥加金3,000円・吸物付)・「喜」(冥加金1,500円)》席数に余裕がある場合に限り、希望日の4日前まで予約を受け付けています。下記お問い合わせ先へご連絡ください。



精進弁当「慶」(イメージ)

お問い合わせ 教区団体参拝受入センター
TEL:075-371-9212 空席情報 →
FAX:075-371-9204



お斎とは、報恩講などの仏事の際にいただく食事のことをいいます。真宗本廟では、平素よりお斎をご用意しております(事前予約制・2週間前まで)。ご参拝の際にはぜひお斎をお召し上がりください(※上記精進弁当とは内容が異なります)。

詳しくはこちら



真宗本廟 歓迎花

ご参拝の皆さまをお迎えする「歓迎花」を境内各所に設置します。



イメージ
2019年真宗本廟報恩講

- 〈御影堂門下〉 協力：華道家元池坊
期間：3月24日~4月8日・4月15日~4月29日 ※讃仰期間設置なし
- 〈昼食会場〉 協力：ちいちの華・はちすの会など
期間：3月25日~4月8日・4月15日~4月29日 ※讃仰期間設置なし
- 〈お堀〉 協力：加藤造園株式会社・いけばな草月流
期間：3月24日~4月29日

光華女子学園はななぎキャンパス in 東本願寺

光華女子学園は幼稚園から大学院までを有する総合学園です。「多様な他者と共に生きる未来を創造できる人となってほしい」という願いを込めた日々の活動をご紹介します展示や参加型イベントを行います。ぜひお立ち寄りください!



2021年真宗本廟報恩講

会場 白洲特設テント 期間 3月25日~4月29日

大谷祖廟

東本願寺の飛地境内である大谷祖廟は、親鸞聖人の御廟所(墓所)です。聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

祖徳讃仰勤行

慶讃法要期間中、晨朝が祖徳讃仰勤行として、毎日8時30分から勤まります。また、境内各建物前にはパネルを設置し、歴史・法要・諸行事について紹介します。

※慶讃法要期間中も大谷祖廟での納骨・読経等は通常通り行います。



アクセス 〒605-0071 京都市東山区円山町477
市バス京都駅D2乗り場から206系統(約20分) 祇園バス停下車 徒歩約10分
京阪電車祇園四条駅より徒歩約15分/阪急河原町駅より徒歩約20分

同朋会館

同朋会館は、門徒同朋をはじめ多様な方々が真宗本廟に集い、清掃奉仕と聞法座談をとおして真宗門徒の生活を習う奉仕施設です。人と教えに出会う場として、同朋会運動の発足とともに歴史を重ね、2018年に建物を全面リニューアルしました。

慶讃法要奉仕団・讃仰奉仕団

慶讃法要期間は、法要参拝を中心にした慶讃法要奉仕団を開催。讃仰期間は宗祖の歩みをたどり御旧跡(比叡山)に身を運びます。



讃仰パネル展「親鸞聖人と家族の歩み」
カフェ(無料)

お気軽に
どうぞ!

時間 9:00~17:00
会場 同朋会館2階 多目的室

ご懇志のお願い

私どもの宗門は、全国のご寺院とそこに集うご門徒のお運びいただいたご懇念により、宗祖親鸞聖人が顕かにされた本願念仏の教えに生きる「人の誕生」とその教えを相続していく「場の創造」を期し、さまざまな法要や事業を行っております。

今後の宗門のさらなる興隆を念じ、お一人でも多くの方にご懇志をご進納いただきたく、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

法要期間中、御影堂前の総合受付にてご懇志を受け付けております。

真宗大谷派災害救援金のお願い

近年多発する災害に対し、被災者の方々の日も早い復興、復旧に資するため、境内に救援金箱を設置しております。被災地の復興支援にご協力をお願い申し上げます。

東本願寺周辺 お散歩マップ

東本願寺周辺には
たくさんのお店があります。
お店を巡りながら
東本願寺周辺を散策してみませんか。

情報満載の
「お散歩マップ」を
境内各所に
設置しています。
ぜひご覧ください。



親鸞聖人の主著『教行信証』の坂東本・西本願寺本・高田本が初めて集結!

親鸞聖人生誕八百五十年特別展 「親鸞—生涯と名宝—」

宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年・真宗教団連合50周年記念事業の一環として、各派が所有する親鸞聖人ゆかりの法宝物などが展示されます。国宝11件・重要文化財約70件以上を含む過去最大の出展件数での開催です。



期 間 2023年3月25日(土)～5月21日(日)

会 場 京都国立博物館 平成知新館
(京都市東山区茶屋町527)

開館時間 9時～17時30分(入館は閉館の30分前まで)※月曜日休館

観 覧 料 一般1,800円(前売料金:1,600円)
大学生1,200円(前売料金:1,000円)
高校生 700円(前売料金: 500円)

主 催 京都国立博物館・朝日新聞社・
NHK京都放送局・NHKエンタープライズ近畿

特別協力 真宗教団連合

詳しくはこちら



[東本願寺からのアクセス] 京都市バス206系統 烏丸七条から博物館三十三間堂下車(約5分)

◆◆◆◆◆ 南座4月特別公演 ◆◆◆◆◆

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・
立教開宗八百年 慶讃法要記念

『若き日の親鸞』

五木寛之著『親鸞』(講談社刊)より「一青春篇」を原作として、京都の南座が舞台化。平安末期の激動の京都を舞台に、人生と信仰に悩む親鸞聖人の半生を描きます。

公演期間 2023年4月10日(月)～29日(土)

会 場 南座(京都市東山区四条大橋東詰)

出 演 藤山扇治郎(親鸞)、藤川矢之輔(法然)、三林京子(サヨ) ほか

開演時間 午前の部/10時30分～ 午後の部/14時30分～

観劇料 S席(1・2階)/12,000円 A席(3階)/6,000円
(税込) **ご門徒様料金** ※事前申込制

S席(1・2階)/7,000円 A席(3階)/4,000円

主催・製作 松竹株式会社 推薦・後援 真宗教団連合 ほか

[東本願寺からのアクセス]
京都市バス5系統 烏丸六条から四条河原町下車(約12分) 徒歩6分
タクシーの利用(約15分)



藤山扇治郎



藤川矢之輔



三林京子

宗派関係学校
大谷高校(大阪)卒業生

1ご予約→2ご入金
→3チケット発券(3月15日以降)

※観劇にはチケットが必要です。ご予約・入金後、必ずチケットを発券してください。

予約方法

2月14日(火)10時からお申込みいただけます。

①電話受付(有人)
2月14日～28日18時まで

0570-08-9911
(通話料有料・10時～18時)

②電話受付(自動音声)
2月14日～各公演3日前

0570-08-9920(通話料有料)
Cコード 126-105

③インターネット受付
2月14日～各公演3日前

WEB画面に従ってご予約ください



慶讃法要限定！書籍のご紹介



慶讃法要限定『真宗大谷派勤行集』(和綴・大判)を販売します。ご参拝の記念にぜひお買い求めください。

「慶讃法要記念」の文字が金色で印刷されています！

法要期間中、通常よりもお得にお買い求めいただける**限定セット**の販売も行います。東本願寺や親鸞聖人について学べる書籍、お子さま向けの書籍などさまざまなセットをご用意してお待ちしています。ぜひお買い物広場にお立ち寄りください！



※表紙はイメージです。

定価:550円(税込)



慶讃法要記念ブックフェア

3月1日(水)～4月30日(日)

1 〈慶讃法要〉特別価格キャンペーン

親鸞聖人に関する書籍等を特別価格(定価の半額)で販売します！

※特別価格キャンペーンは「TOMOぶっく」からのご注文に限ります。

2 2,000円以上購入で配送料無料キャンペーン

期間中に東本願寺出版発行の出版物を合計2,000円(税込)以上お買い上げいただいた方には、配送料無料でお送りします！

※TEL・FAX・メール・「TOMOぶっく」でのご注文に限ります。

ご注文お待ちしております



詳細は東本願寺出版ホームページまで [東本願寺出版](#) [検索](#)

TEL:075-371-9189 FAX:075-371-9211

Email:books@higashihonganji.or.jp



東本願寺お買い物広場

上山の思い出に、ふるさとへお土産を

〔営業時間：9時～17時30分〕

東本願寺発行の書籍やオリジナルグッズを販売。平常のお買い物広場に加え、鐘楼前にも臨時のお買い物広場を設置します。ゆっくりとお買い物をお楽しみください。



お買い物広場(御影堂門 南側)



皆様のお越しを
お待ちしております



慶讃法要を記念した期間限定デザインのグッズもあります！

《慶讃法要記念デザイン》

- ・ジュートスクエアトートバッグ(白・M/Lサイズ) ・東本願寺の水
- ・報恩せんべい

その他書籍や念珠・蠟燭・お菓子等の記念品・お土産も多数取り揃えています。

慶讃法要ご参拝の思い出を『同朋新聞』に残しませんか？
ご参拝の感想、写真などをぜひお寄せください。お待ちしております！



宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版『同朋新聞』参拝の思い出係 応募はコチラ
メール higashihonganjishuppan@gmail.com



※住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。
※紙面の都合上、すべてを掲載できない場合があります。また、掲載する際は、文章を添削・抜粋することがあります。
※お送りいただいた写真は返却できません。ご了承ください。

『同朋新聞』は東本願寺出版ホームページでもお読みいただけます。



宗祖親鸞聖人のご生涯

西暦	元号	歳	事項
1173	承安三	1	ありのり 日野有範の長男として誕生。
1181	養和元	9	春、伯父の <small>のりつな</small> 日野範綱に連れられ、慈円のもとで出家し、範 <small>ねん</small> 妄と名のる。その後20年間、比叡山で天台仏教を学ぶ。
1201	建仁元	29	<small>どうそう</small> 堂僧をつとめていた比叡山を下りる。六角堂に参籠中、95日目に聖徳太子の夢告を受け、法然上人のもとをたずねる。100日間通ったのち、弟子となる。
1204	元久元	32	法然上人は、門弟たちの言動が比叡山から問題視されたため、注意を促すべく「七箇条制誡」を示す。親鸞聖人はそこに「僧 <small>しやくう</small> 綽空」と署名する。
1205	元久二	33	法然上人に認められ、『 <small>せんじやくほんがんにんぶつしゆく</small> 選択本願念仏集』の書写と、真影の図画を許される。 夢告により、綽空の名を改める。 一方、興福寺から専修念仏禁止を求める訴状が提出される。
1207	承元元	35	朝廷の専修念仏停止により法然上人らとともに罰せられ、越後へ流罪となる（承元の法難）。流罪以降、愚禿釋親鸞と名のるといふ。
1211	建暦元	39	法然上人とともに赦免となる。
1212	建暦二	40	法然上人入滅。
1214	建保二	42	越後から関東へ向かう途中、上野佐貫で『三部経』千部読誦を発願するが、名号のほか何の不足があるのかと思い、読誦を中止。やがて常陸へ向かう。 ※日照りが続き、飢饉、疫病で多くの人が亡くなる。
1224	元仁元	52	元仁元年が末法に入って683年と確認する。 （『教行信証』） ※延暦寺が、朝廷に専修念仏の停止を求める。 末娘の覚信尼誕生。

西暦	元号	歳	事項
1231	寛喜三	59	病床で『大無量寿経』を読むが、建保二年の『三部経』千部読誦の反省を思いかえし、自身の自力の心の根深さを見つめ中止する。 ※このころ、全国的な大飢饉。
1234～1235	文暦元～嘉禎元	62～63	このころ、関東から京都へ帰る。
1247	宝治元	75	門弟の <small>そんれん</small> 尊蓮、『教行信証』を書写。
1248	宝治二	76	『浄土和讃』『浄土高僧和讃』を著す。以降、『 <small>いちねんたねんもんい</small> 一念多念文意』『 <small>ゆいしんしゆくもんい</small> 唯信鈔文意』などの著作や手紙を著す。
1256	康元元	84	関東で続く教えをめぐる混乱を止めるため、親鸞聖人は息男善鸞を関東へ遣わす。しかし善鸞がさらに門弟を混乱させたため、親子の縁を切る。
1257	正嘉元	85	「弥陀の本願信ずべし」の夢告を受け、うれしさをもって『 <small>しょうそうまつ</small> 正像末和讃』に書き入れる。
1262	弘長二	90	11月28日、京都の善法坊で入滅。



インターネット ライブ配信のご案内

YouTube真宗大谷派公式チャンネルにおいて、慶讃法要のライブ配信を行います。
法要の時間になりましたら、YouTube「真宗大谷派公式チャンネル」にアクセスしてください。
慶讃法要関連動画も公開しています。
ご参拝の前にぜひご覧ください。

YouTube 真宗大谷派 公式 検索



真宗本廟（東本願寺）案内図

開門：5時30分
閉門：17時30分



※配置は変更となる場合がございます。ご了承ください。

- | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------|---------------|-----|-----|------|----------------|
| | | | | | | |
| 書籍販売
東本願寺出版の書籍等を販売 | 物品販売
お土産や記念品を販売 | AED
設置場所 | 救護室 | トイレ | 授乳室 | 団体参拝
集合スポット |
| | | | | | | |
| バリアフリー
トイレ | 車いす
トイレ | 車いす
エレベーター | 喫煙所 | カフェ | 昼食会場 | |

東本願寺から
渉成園への
行き方

